

家庭で起こる製品事故に注意！ ～ リチウムイオン電池の発火事故 ～

スマートフォンやモバイルバッテリー、ノートパソコン、コードレス掃除機、電動自転車などに使われているリチウムイオン電池。便利な一方、使い方を誤ると発煙・発火の恐れがあります。

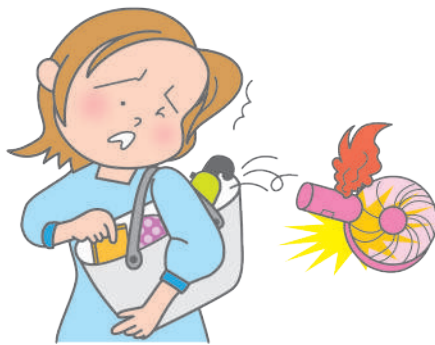
(発火事故の例)



バッグに入れていたモバイルバッテリーから突然発火し、バッグや床を焦がした。



ハンディファン(携帯用扇風機)を落下後も使用したところ、発火した。



車内放置にも注意！

リチウムイオン電池は、高温に弱い性質があります。車内に置いたままにしておくと、熱暴走を起こして車両火災につながる恐れがあります。



ココに注意！

次のような場合は危険です。

- 膨らんでいる
- 異常に熱い
- 異臭や煙が出る



すぐに使用を**中止**しましょう。



事故を防ぐために

- 落とす・押すなど強い衝撃を与えない。
- 車内などの高温の場所に放置しない。
- 購入時はPSEマーク※の表示を確認する。



スマートフォンやコードレス掃除機の充電器などの表示



コードレス掃除機のバッテリーやモバイルバッテリーなどの表示

※PSEマーク：日本の「電気用品安全法」の基準を満たし、安全性が確保された電気製品に付けられるマーク



リコール情報に注意しましょう

事業者が事故の未然防止・再発防止のために発表した商品の無償修理や回収(リコール)は、下記のサイトで確認できます。対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、速やかに事業者までご連絡ください。

【消費者庁リコール情報サイト】

<https://www.recall.caa.go.jp>

【経済産業省製品安全ガイド】

https://www.meti.go.jp/product_safety/

防げる事故から子どもを守ろう！ ～ ベランダ・窓からの転落に注意 ～

自宅のベランダや窓からの転落事故は、わずかな時間でも発生します。事故の多くは、窓の施錠忘れや、ベランダに置かれた物を足場にして起こります。日頃から窓やベランダの周りを確認し、事故を防ぎましょう。

事故を防ぐためのポイント

- 子どもだけで部屋に残さない
- ベランダや窓の近くに物を置かない
- 窓に補助錠を付ける
- エアコン室外機は手すりから離す

